

成果指標				
成果指標	夜間照明使用回数			
指標設定の考え方	夜間照明使用回数			
区分年度	24年度	25年度	26年度	目標26年度
目標	1	1	1	1
実績	1	1	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	3	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	びわ祭りで使用する器材、道具を収納しているおり、今後の利用について早急に地元と協議する必要がある。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	3	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	自己評価のとおり、地元と協議しながら今後の施設利用の方向を決める必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。
意見、課題	トイレ、夜間照明施設については、市で管理する必要があるが、建物については、取り壊しも視野に入れ、地域の方と協議する必要がある。

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

下記の点を見直しの上、継続する。

意見、課題

二次評価の内容を踏まえ見直すこと。